年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校　令和8年度　　教科　公民　科目　政治経済

教　科：　公民　　科　目：　政治経済　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：竹下　）　（B組：竹下・安斉　）

使用教科書：　（　東京書籍　政治・経済　）

教科　公民　の目標：

【知識及び技能】　社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】　合意形成や社会参画に向け，国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題について考察し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に構想したり，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり，表現したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現のために，国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、知識および技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

科目　政治経済　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け，国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題について考察し，説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に構想したり，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性など	よりよい社会の実現のために，国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、知識および技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名　現代日本の政治 【知識及び技能】 政治の様々な概念や知識を理解し、現状の分析に応用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治、立憲政治、政治機構について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の政治の現状について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	第１編　１章　現代日本の政治 １節 民主政治の基本原理 ２節　日本国憲法の基本原理 ３節 日本の政治機構 ４節 現代政治の特質と課題 ○世界の主な政治体制 ○基本的人権の保障 ○国会、内閣、裁判所 ○選挙と政治意識 ・調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 現代日本の政治と経済について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2学期	単元名　現代日本の経済 【知識及び技能】 経済の様々な概念や知識を理解し、現状の分析に応用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済、福祉社会と日本経済の課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の経済の現状等について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	第２章　現代日本の経済 １節　現代の資本主義経済 ２節　現代経済のしくみ ３節　日本経済の発展と現状 ４節　福祉社会と日本経済の課題 ○経済活動の意義 ○金融・財政 ○日本経済の現状 ○雇用と労働 ○社会保障と福祉 ・調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 現代日本の政治と経済について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
3学期	単元名　現代日本の諸課題 【知識及び技能】 現代日本の諸課題への取り組みを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の諸課題に対する自己の見解を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の諸課題に関心を持ち、考察を進めている。	第３章　現代日本の諸課題 ○少子高齢社会における社会保障 ○地域社会の活性化 ○多様な働き方・生き方の実現 ○中小企業の意義と課題 ○日本の財政の健全化 ○持続可能な食料・農業の実現 ○防災と安全・安心な社会の実現 ・調べ学習、レポートの作成	【知識・技能】 現代日本の政治と経済について、基礎的な知識・技能を身に付け、活用することができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して科学的・論理的に考え、既存の知識・経験、他者の意見等を取り入れながら考えを深め、工夫して自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して興味・関心をもち、自ら考え、継続的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計 74